

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2019-163853(P2019-163853A)

【公開日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【年通号数】公開・登録公報2019-039

【出願番号】特願2019-6519(P2019-6519)

【国際特許分類】

F 16 F 15/16 (2006.01)

F 16 F 15/134 (2006.01)

【F I】

F 16 F 15/16 M

F 16 F 15/134 A

F 16 F 15/134 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月19日(2021.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

出力プレート3は、図3に示すように、環状の部材であり、本体3aと、本体3aの外周からさらに外周側に突出する2つの第2係合部3bと、を有している。2つの第2係合部3bは径方向に對向する位置に配置されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

このような構成により、中間用スプリングシート45は、第1～第4スプリング41a, 41b, 41c, 41dの端部を、半径方向及び軸方向に支持している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

[シール機構50]

環状チャンバ23に充填された粘性流体が、チャンバ外部に流出しないように、第1プレート21及び第2プレート22と出力プレート3(具体的には本体3a)との間には、シール機構50が設けられている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

特に、環状チャンバ23内の粘性流体は外周側への力を受けている。したがって、端部用スプリングシート44及び中間用スプリングシート45の外周部に形成された連通溝441、442、451、452を介して、粘性流体は円周状に均一に分布しやすくなる。このため、予定されていた粘性流体によるヒステリシストルクを超えた大きいヒステリシストルクが発生するのを抑えることができる。

【手続補正5】

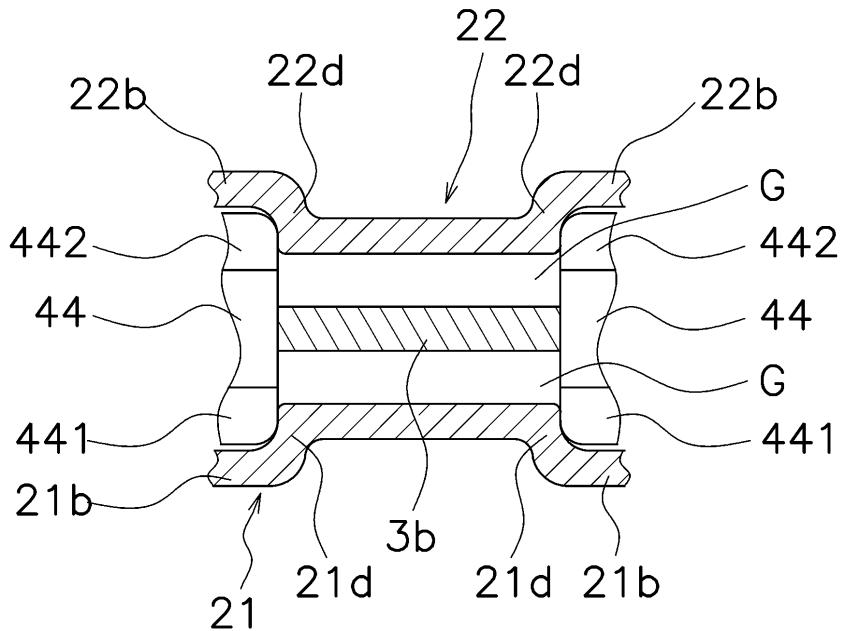
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

